

【証券コード：6728】

決算説明資料

2020年度（FY2020）

第1四半期（1Q：2020年7月～2020年9月）

2020年11月13日

株式会社 アルバック

◆将来見通しに関する記述についての注意事項

本資料に記載の業績見通しならびに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき作成されたものです。

世界経済情勢、半導体・電子部品・FPD・原材料などの市況、設備投資の動向、急速な技術革新への対応、為替レートの変動など様々な要因により、実際の業績・成果等はこれらの見通し・将来予測と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆本資料における表示方法について

(特段の記載がない限り、数値はすべて連結ベースです)

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現：

2Q (累計)： 第2四半期連結累計期間

2Q： 第2四半期連結会計期間

2020年度1Q連結業績まとめ

- 1Q受注高は前年同期比減少するが、当初想定通り
- 2Q以降に予定する大口商談、活発化する中国のエレクトロニクス関連投資の取り込み、設備投資の段階的回復等により、2Q以降、受注回復
 - ・ FPD関連の中小型OLED・大型TV用LCD等の大口商談が2Q以降に集中
 - ・ エレクトロニクス関連の投資が活発化する中国への渡航再開で受注増加見込み
 - ・ 半導体の1Qは一時的な端境期であり、2Qから回復見込み
 - ・ コンポーネント・分析機器関連等の設備投資の段階的回復
- 受注高・売上高・利益は通期計画達成見込み

〈1Q実績〉

□ 受注高	312億円	(前年同期比▲11%)
□ 売上高	366億円	(前年同期比▲22%)
□ 営業利益	10億円	(前年同期比▲80%)

〈通期計画〉

1,800億円
1,650億円
150億円

2020年度1Q連結業績概要

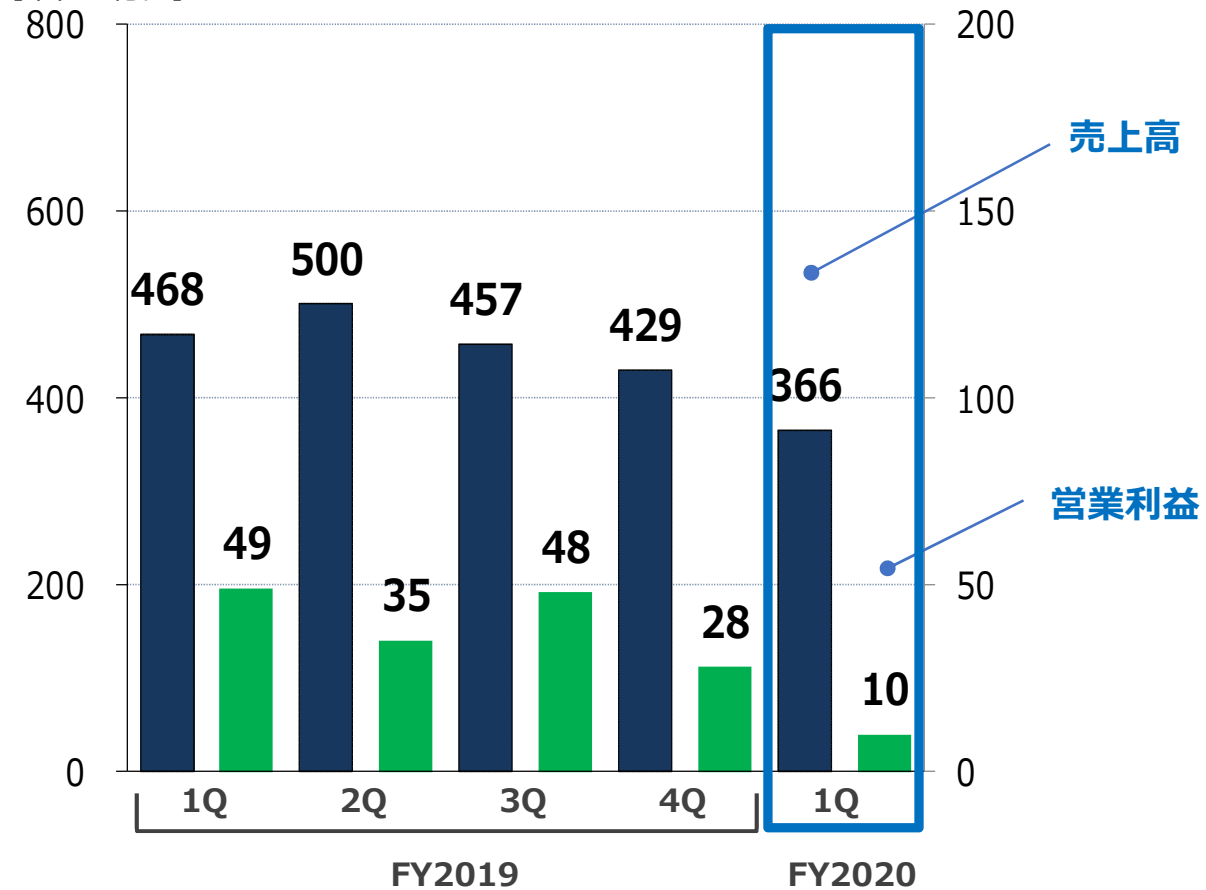
- ・ 受注高：大口商談の2Q以降への集中、新型コロナウイルスによる渡航制限等により、前年同期比減少（当初想定通り）
- ・ 売上高：受注減少により前年同期比減少
- ・ 営業利益：売上減少により前年同期比減少

【単位：億円】

	2019年度	2020年度	
	実績	実績	対前年同期 増減率
	1Q	1Q	
受注高	352	312	-11.2%
売上高	468	366	-21.9%
営業利益	49	10	-79.8%
率	10.5%	2.7%	-7.8pt
経常利益	61	10	-83.1%
率	13.0%	2.8%	-10.2pt
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	34	3	-90.6%
率	7.4%	0.9%	-6.5pt

売上高と営業利益の推移（四半期毎）

【単位：億円】

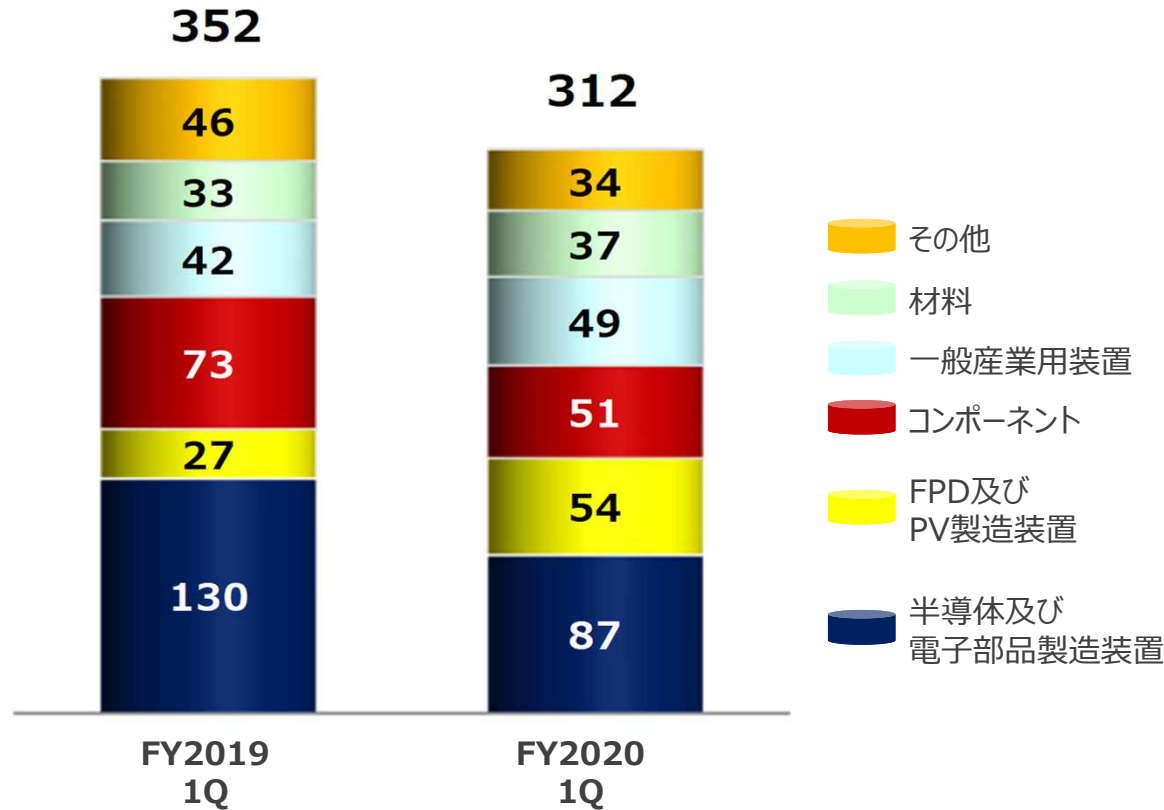


2020年度1Q連結業績概要（品目別受注高）

- 半導体・電子部品製造装置：上期受注は前年同期並みを見込むが、当初より2Qに商談集中予定で1Qは前年同期比減少（電子関連は渡航制限の影響大きい、順次移動可能に）
- FPD・PV製造装置：今期は2Q以降（特に下期）に大口商談があり、1Qは当初想定通り
- コンポーネント：自動車関連の設備投資延期等により前年同期比減少

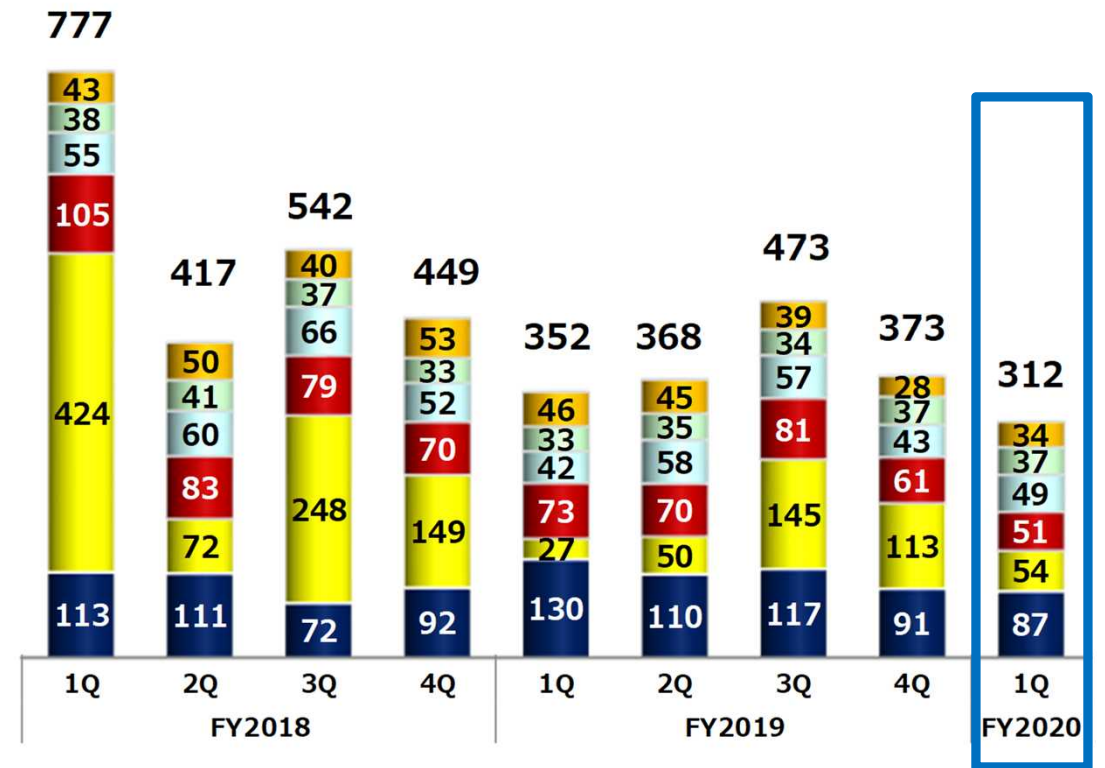
前年同期比

【単位：億円】



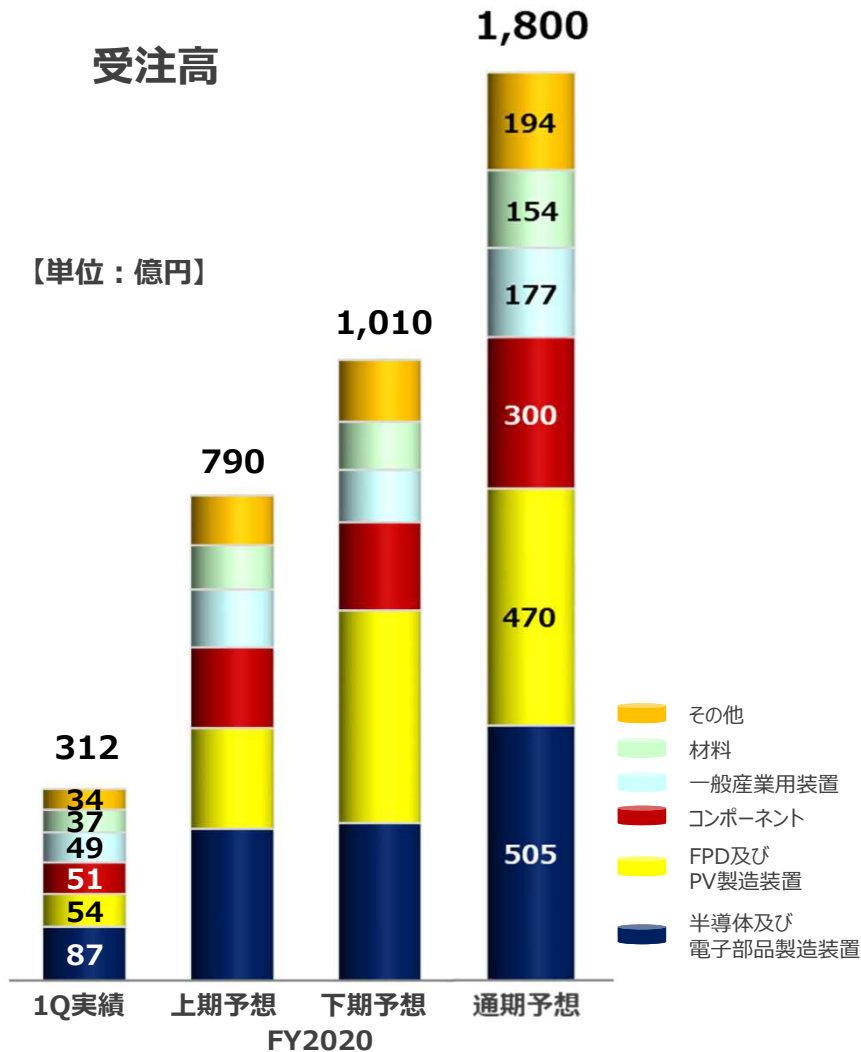
四半期推移

【単位：億円】



2020年度連結業績予想（品目別受注高）

- 大口商談の2Q以降への集中、渡航制限等により、1Qの受注高は低水準（当初想定通り）
- 上期受注計画790億円、通期受注計画1,800億円に変更なく、2Q以降、受注高・売上高ともに回復基調となる見込み



(1)半導体・電子部品製造装置

- 半導体は、1Qは一時的な端境期となったが、2Qから回復、通期では前年同期並みを見込む
ロジックのメタルハードマスク工程新規参入を足掛かりに、ファウンドリーやメモリーメーカーとのセカンドベンダーとしての共同開発案件増加(21年度以降の貢献を見込む)
- 電子部品は、中国の投資の動きが活発化する中、日本からの渡航も再開し、2Q以降の受注増加を見込む

(2)FPD・PV製造装置

- 中小型OLED、大型TV用LCD等大口商談が2Q以降に集中しており、通期計画通りの受注を見込む

(3)コンポーネント

- 2Q以降、半導体・電子関連設備投資等の段階的回復を見込む
下期にクライオポンプのOLED関連大口商談が複数あることなどから受注増加を見込む

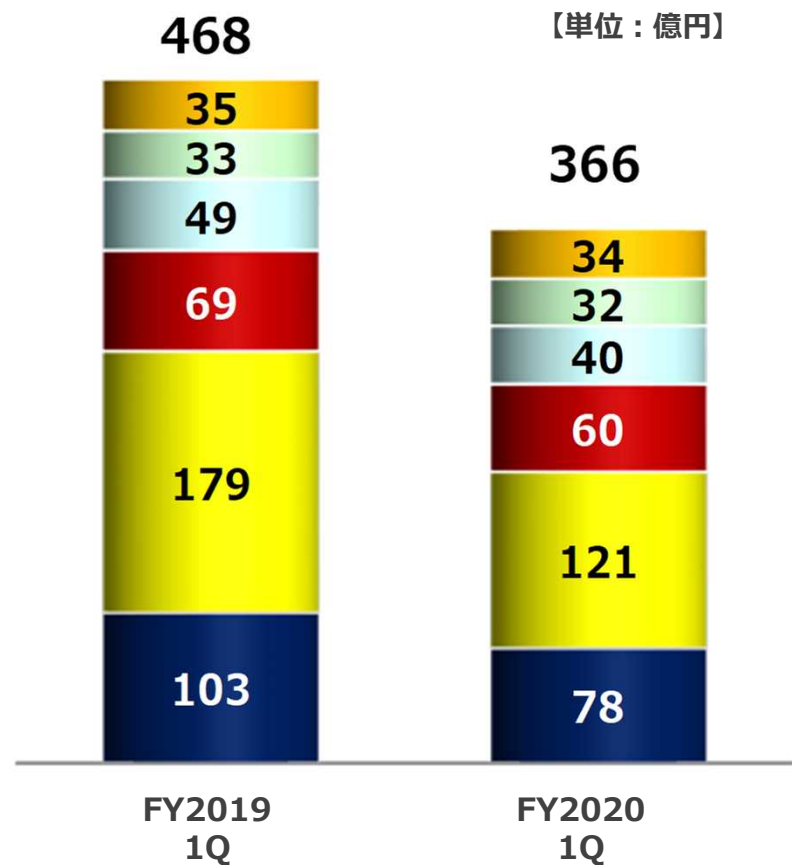
(4) その他

- 新型コロナウイルスの影響等により欧米研究所向け分析装置の商談が進んでおらず、2Q以降、欧州から順次回復を見込む

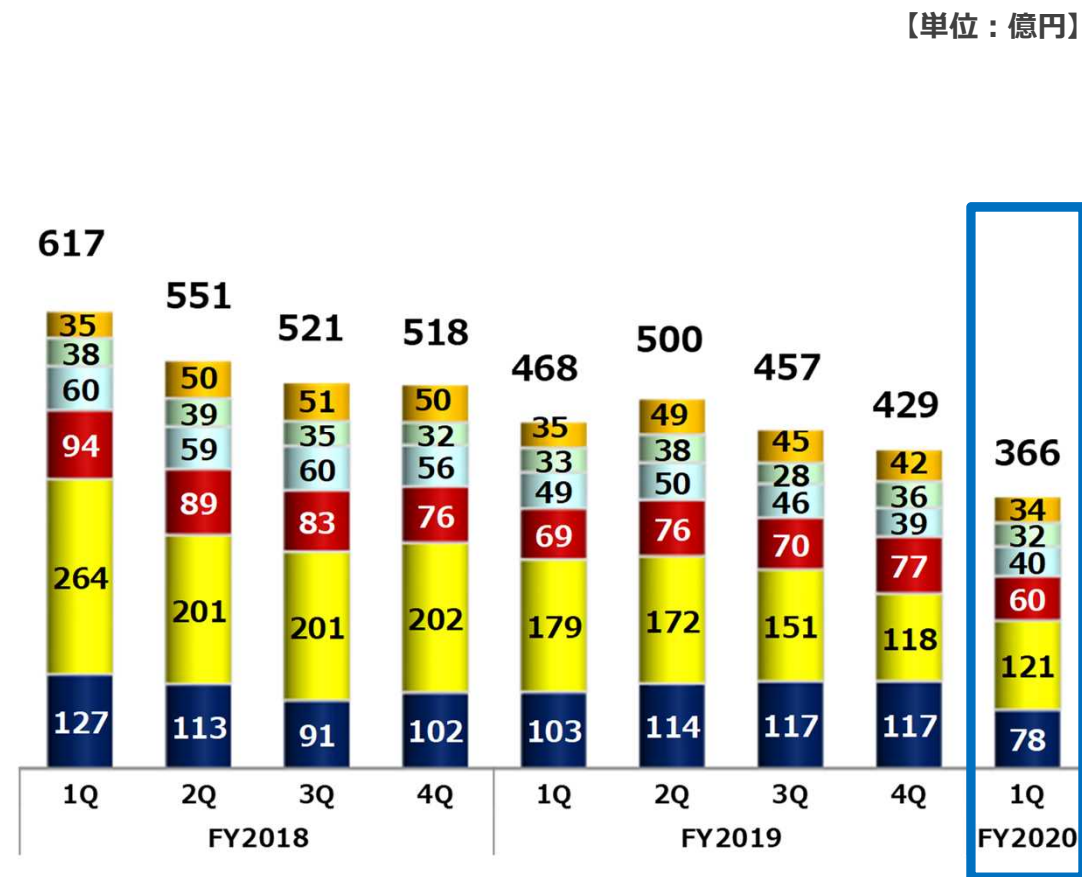
2020年度1Q連結業績概要（品目別売上高）

- 受注減少に伴い前年同期比減少

前年同期比



四半期推移

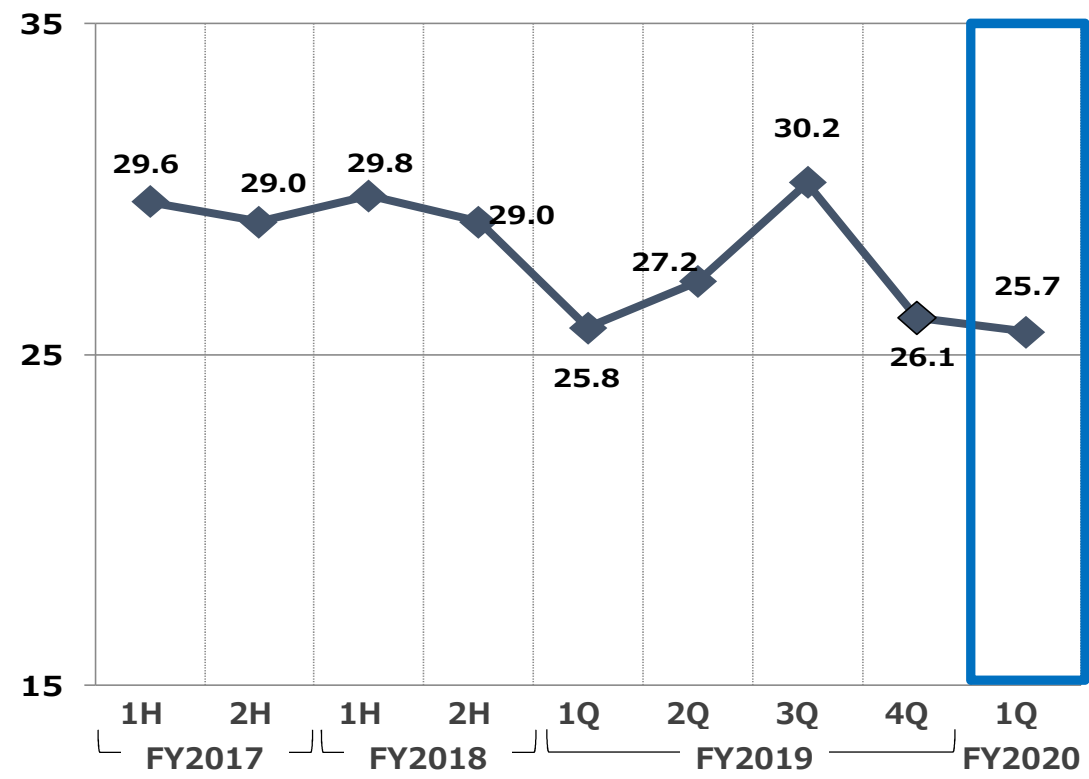


2020年度1Q連結業績概要 (利益率)

- 売上減少により営業利益率低下

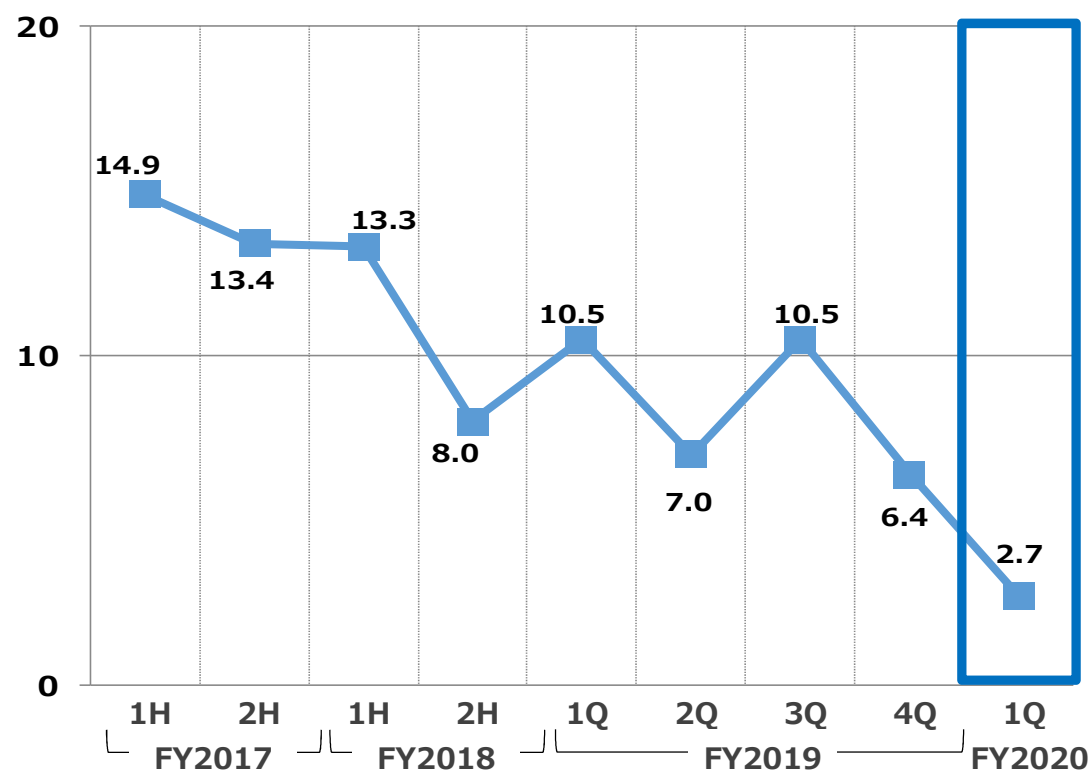
売上総利益率

【単位：%】



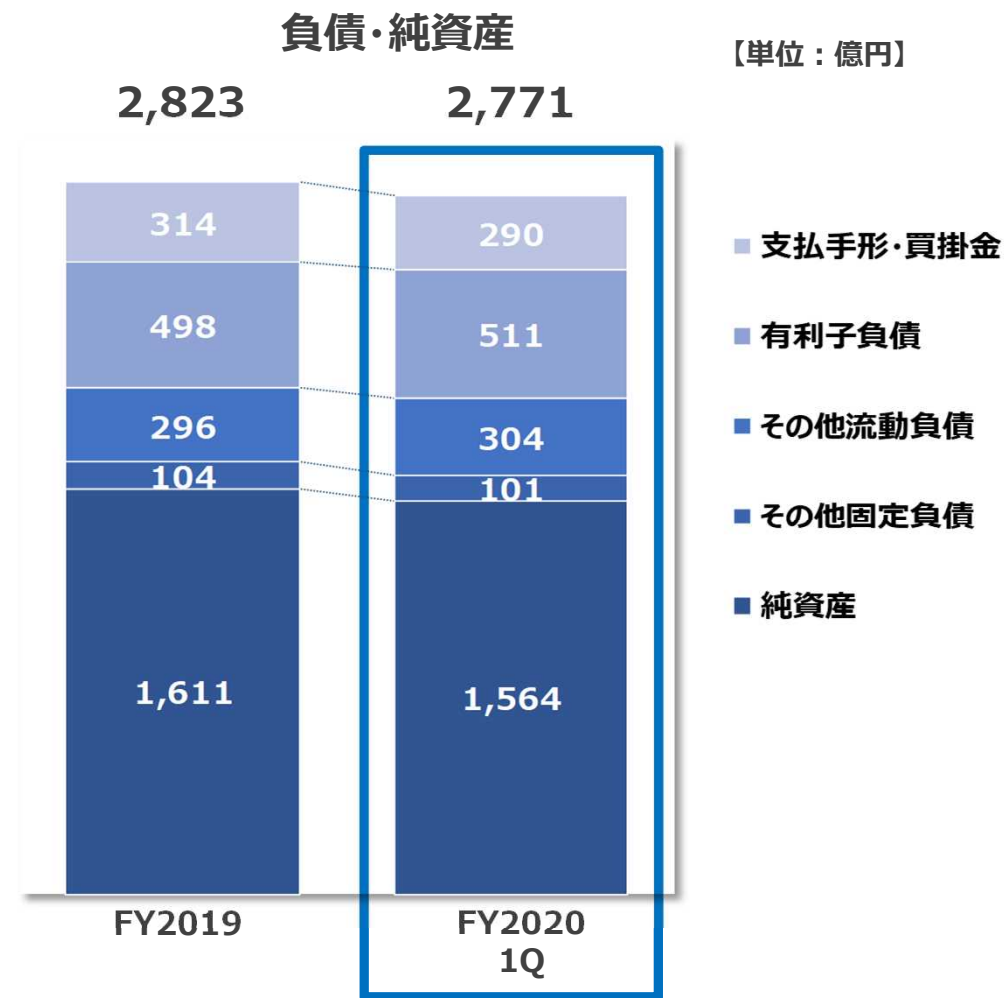
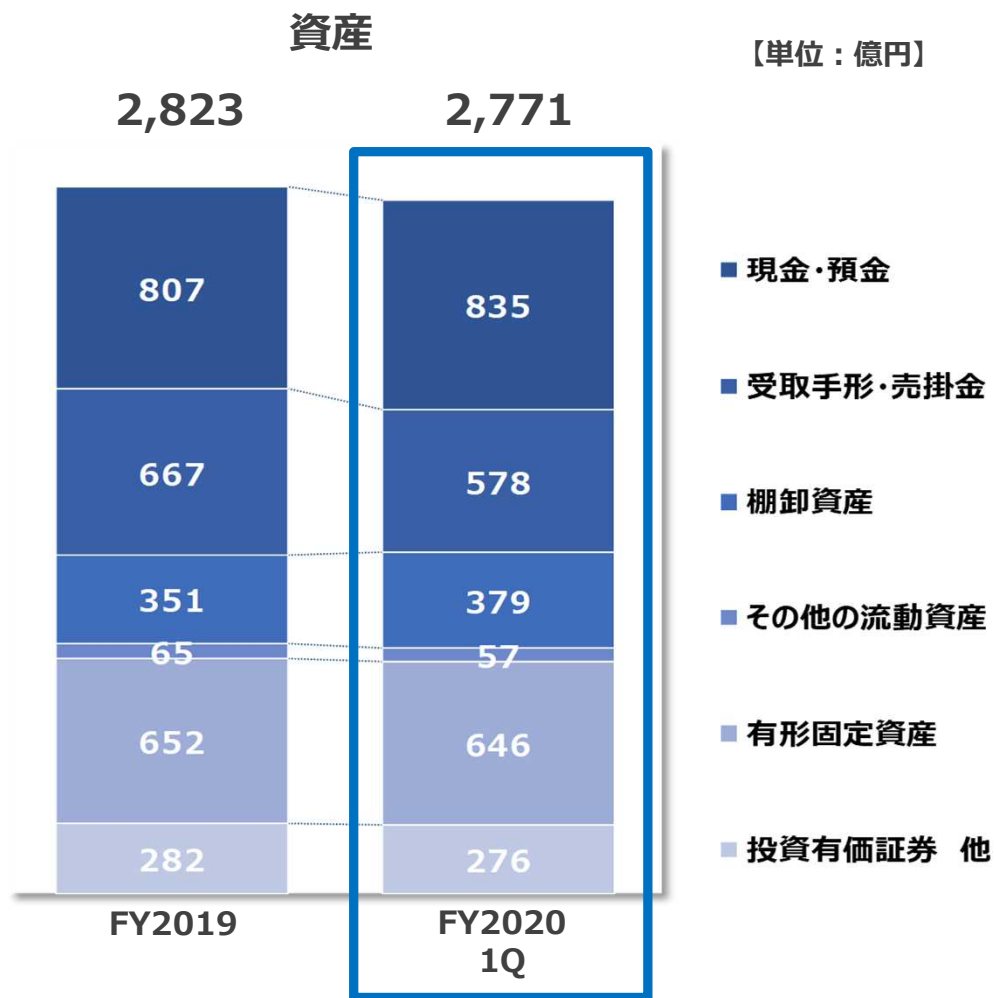
営業利益率

【単位：%】



2020年度1Q連結業績概要（連結貸借対照表）

- 受取手形・売掛金89億円減少、支払手形・買掛金24億円減少
- 総資産53億円減少、自己資本比率54.2%



さまざまな業界・用途で貢献するアルバックの真空技術



Automobile
自動車



Semiconductor
半導体



Flat Panel Display
フラットパネルテレビ



Photovoltaic
太陽電池



Food Processing
食品



Aircraft
航空



Bio
バイオ



Smart Phone
スマートフォン



Magnetic Device
磁気デバイス



Home Appliance
家電製品



Aerospace
宇宙産業



Pharmaceutical
医療・薬剤



Wearable/VR
ウェアラブル/VR



Power Device
パワーデバイス



MEMS Device
MEMS デバイス



Architectural Glass
建材・スマートガラス



Optical
光学



Flexible
フレキシブル



Packaging Materials
パッケージング



Battery
バッテリー

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる

ULVAC